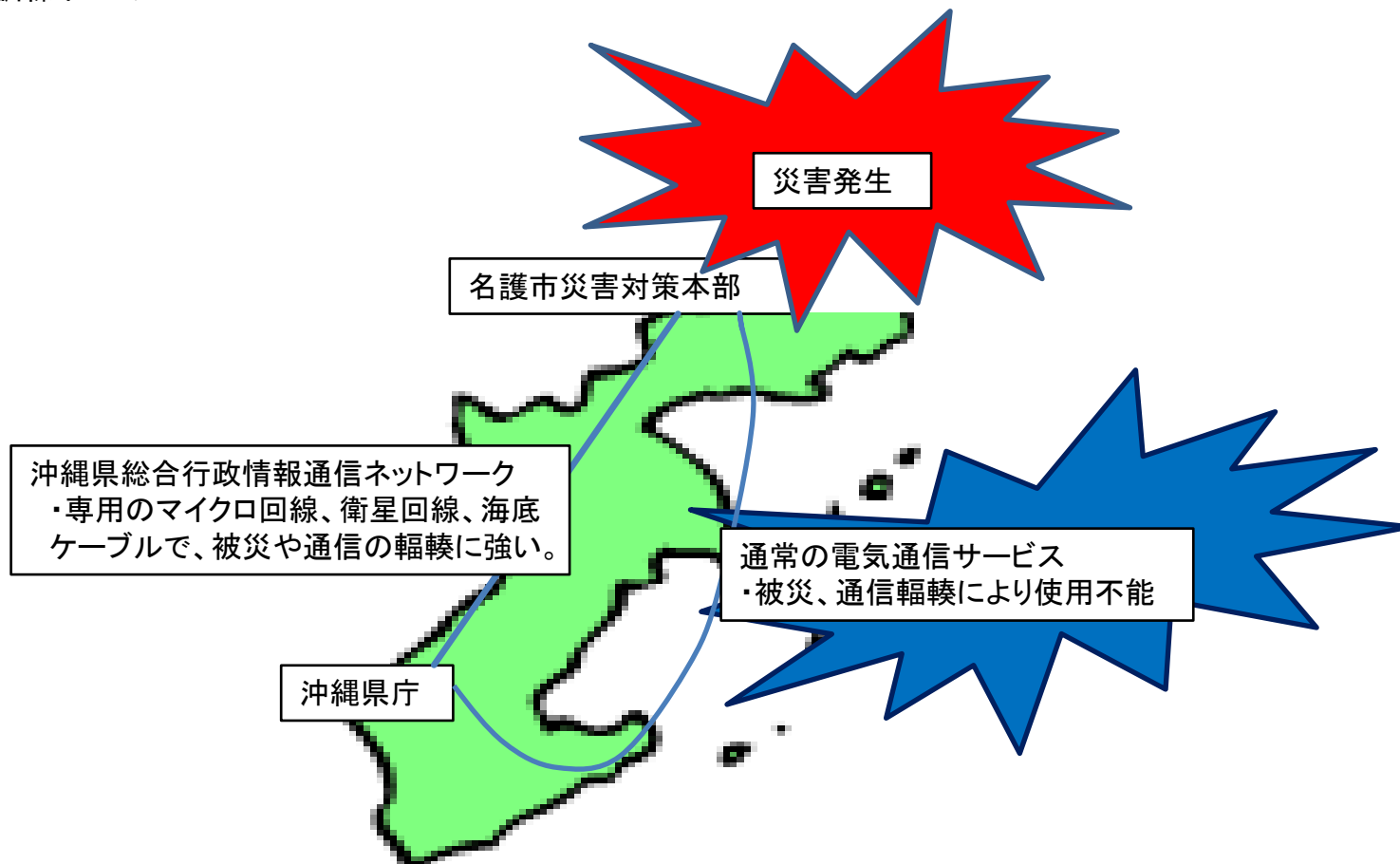


## 情報伝達訓練

沖縄県総合防災訓練の一環として、災害時に通常の電気通信サービスが途絶したことを前提に、沖縄県総合行政情報通信ネットワークを活用した被災市町村から、沖縄県(災害対策本部)への情報伝達訓練を行う。

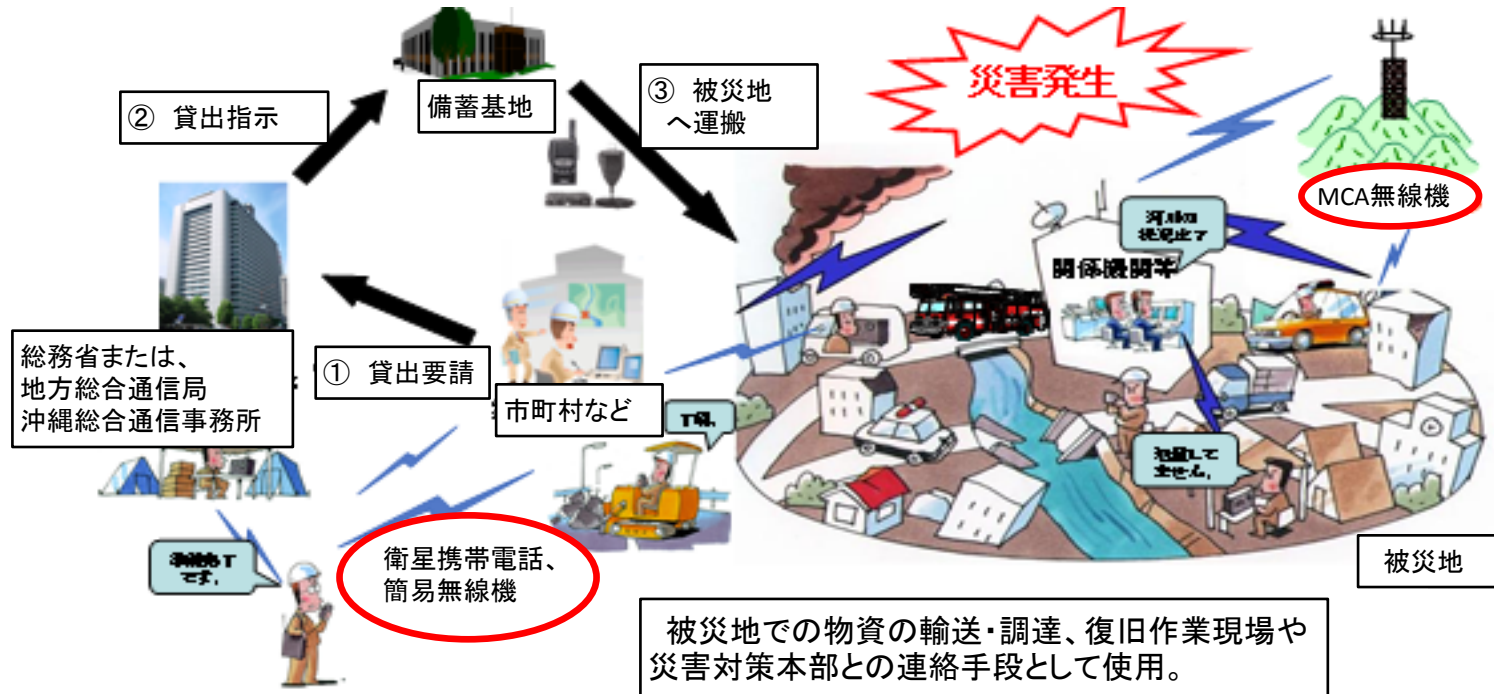
## 訓練イメージ



# 災害対策用移動通信機器貸出訓練

- ・ 総務省では、災害応急対策における通信手段を確保するために、災害対策用移動通信機器（衛星携帯電話、簡易無線機、MCA無線機）の備蓄・調達体制の整備を進め、東日本大震災では、被災自治体などに約1800台を貸出。現在、沖縄総合通信事務所には衛星携帯電話：7台、簡易無線機：10台、MCA無線機：5台を備蓄している。
- ・ 広域災害発生時の機器貸出を円滑に行うために、沖縄県災害対策本部からの貸出手続きの訓練を行う。

## 災害対策用移動通信機器の貸出イメージ



# 防災相互通信用無線局による通信訓練

防災相互通信用無線局は、災害時の「他の防災関係機関(免許人)の無線局」との通信を行うことを目的に、警察庁、海上保安庁、国土交通省、自衛隊、自治体や消防機関などで使用されているものです。

防災相互通信用無線局の認識や習熟の向上を図ることを目的に、防災関係機関の多くが参加する沖縄県総合防災訓練の一環として、通信訓練を行うものです。

